



附属図書館を拠点とした学生による教育・学習支援

福島大学 教育推進機構（鈴木学）／附属図書館

〒960-1296 福島県福島市南町1-1 附属図書館
TEL: 024-546-2343 FAX: 024-546-2347
URL: <http://www.lib.fukushima-u.ac.jp/>

<本報告の課題意識・目的>

- 大学教育現場において展開されている学生参加型の取組みは、その形態別に①ピア・リーダー、②学生FD、③学生参加型大学運営に分類されます（中2011）。特に、ピア・リーダーにもとづく学生参加型の取組みは、学生支援（修学支援・大学生生活支援）から学習支援まで多岐にわたっていきなりアクティブ・ラーニングの普及によって活発化している現状です。
- 本報告では、多様な領域において展開されている学生参加型の取組みの要素を取り入れた福島大学の「学びのナビゲーター」の取組みを紹介し、附属図書館を拠点とした実施可能な学生による教育・学習支援の方向性について提示しています。

<実践概要>

- 構成員：活動を統括する教職員2名（教育推進機構教員1名、附属図書館教員1名）、学びのナビゲーター約5～10名（学部2年生～大学院修士2年、総数：学部生800名、大学院生100名）
 - 活動内容：附属図書館ラーニングコメンズの一角「学びのナビゲーター」を拠点に活動しています。学びのナビゲーターはソフト形を敷いており、その中で①学習相談の受付、②学習イベントの企画、③正課教育との連携が主たる取組みとなります。
 - 実践開発の経緯：「福島大学学生教育支援基金（ピアリーダー型）を基盤とした学内競争的取組み」を生財源とした取組みで、2015年度から本学の教育・学生の学習実態に応じて様々な取組みにチャレンジしてきました。
- 【2015年度：学生によるラーニングコメンズ活用事業】
【2016年度：「学びのスタッフ」による本学学習支援活性化事業】
【2017年度：「主体的学習を促進する」学生による学生の学習支援プロジェクト】
【2018年度：「学習コミュニティ」の形成に向けた学びのナビゲータープロジェクト】
【2019年度：教育推進機構寄付の財源にて運営】

<学生参加型の教育・学習支援の具体的な取組み>

<h5>学習相談対応</h5> <p>学びのナビゲーターはソフト形と全員の学生からの質問を受け付けています。原則として一対一の質問に対応する形式で、対応を主導する担当者と（学習相談対応表）を作成する担当者に分かれて学生対応に臨みます。記録は個人・全体的な振り返りにも活用します。学習相談受付は可能な限り、在学学生の専門領域になりますが、アカデミック・スキル（レポート・発表の方法等）に関しては全員が担当できる内容として発達しています。</p>	<h5>各種学習イベント・学習教材開発</h5> <p>ジャンルや形態を問わず、様々な学習イベントの開発に着手しています。その時々のお題やテーマ等、授業では取り上げにくい内容を積極的に取っています。</p> <p>ex. 大学院と向き合う：ワークショップ型 ランチのお茶会DVD 読書会：ワーキングメモリアクティブ型 他にもアカデミック・スキルをテーマにした学習支援フリーペーパー「TELL」も定期的に発行しています。</p>	<h5>本の展示</h5> <p>図書利用の促進も兼ねて「本の魅力」を2～3週間毎にテーマを変えて実施しています。</p> <p>ex. 聖地巡礼、福島県の偉人、恋愛、音楽、博覧、LOVE等</p> <p>twitterによる広報</p> <p>情報発信のツールとしてTwitterのページを整えています。内容は「#短期出版物の紹介」「#学びのデータマ」「#ラーニングハック」「#オオシマの夜」「#アパお悩み相談」「#アパの子の夜」になるニュース」等、学生目線重視です！</p>	<h5>密着授業（授業の企画設計・運営）</h5> <p>若手教員や全学関係者（学野関係者）と連携し「本の魅力」をテーマとして連携したアクティブ・ラーニング型の授業やアクティブ・ラーニング型のワークショップの授業を毎月企画・実施しています。密着して「レポートの書き方・注意」に関してワールドカフェ方式を採用し、グループ内で話し合いの場を設け、「レポート」を比較しながら実践的に授業を展開しています。</p> <p>ex. テキストの種類とレポートの書き方、プレゼンの準備を知る等</p>
---	---	---	---

<h4>活動拠点見取り図</h4> <h5>「学びのナビ」徹底解説</h5>	<h4>「自主学習プログラム」開発</h4> <p>福島大学には「自主学習プログラム」と呼ばれる学生自身による主体的な自主学習活動を単位認定できる制度が整備されています。学生自身が202単位（60900時間分）の学習計画を設計・実行する取組みで、これを活性化させるために、学びのナビゲータープログラムの開発、実施を積極的に行い、自主学習モデルの提供、普及に努めています。</p> <p>ex. 大学の授業づくりを学ぶ、ワードローディングを通して学問へのアプローチ アカデミックスキルを養成する（いずれも単位6分単位）</p> <p>● 本報の方針 読書への参加型授業 読書・読書活動の普及 読書会での読書実践 読書会や読書活動の普及 読書会での読書実践</p>
--	--

<h4>正課外での学び</h4> <p>正課内（授業）に紐付かない形で、学生の多様な学習動機に対応すると同時に、新しい学習動機の前向きな学習を促すことに基づき、主体的な学習活動を展開される。より学生の「主体的学習」に寄り添った支援であり、授業以外の様々な学内学習リソースと結び付きながら、学生の在学中の大学教育の充実と学生の成長に貢献する点が特徴的であり、大学教育・運営全般において「学生の力」を活かす方向性を展開する取組みからいえる。</p>	<h4>正課内（授業）に関わる学び</h4> <p>正課内との関わりが深まるほど「単位」の獲得に貢献するがために、学生や教員のニーズに応じることが主体的な学習活動が展開される。比較的に限られた時間内に授業を有しているが、「自律的な支援」を伴う点で特徴的であり、授業に付随する「教員-学生」二重層の関係性の中に、授業を支援する観点から、授業の充実を図ることが出来る。授業の充実を図ることが出来る。授業の充実を図ることが出来る。</p>
--	--

職員（学術情報課・教務課）
勤務支援 運営支援

Active Learner Learning Adviser
Event Planner (学部学生) Learning Activator (大学院生)

学習イベント企画 自主ゼミ開発 学習相談対応 授業連携活動

コーディネーター 育成・研修
教員（教育推進機構 高等教育企画室）

コンセプト：日常を学びに変える！